

「ヘモグロビン A1c (HbA1c)」の 国際標準化への変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび日本糖尿病学会より発表されたヘモグロビン A1c の
国際標準化の基本方針に対応すべく、下記の検査内容を変更させ
ていただきたくご案内いたします。
何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬 白

記

■ 変更実施日 平成 24 年 4 月 2 日 (月) ご依頼分より

■ 新規項目

国際標準値 (NGSP 値) によるヘモグロビン A1c の受託を開始いたします。

項目コード No.	検査項目
6404 5	ヘモグロビン A1c (HbA1c) (NGSP)

■ 変更項目

JDS 値は NGSP 値から換算してご報告いたします。

項目コード No.	検査項目
2607 7	ヘモグロビン A1c (HbA1c) (JDS)

● 変更一覧表

掲載頁	項目コード No.	検査項目	変更箇所	新	現	備考
97	2607 7	ヘモグロビン A1c (HbA1c)	項目名称	ヘモグロビン A1c (HbA1c) (JDS)	ヘモグロビン A1c (HbA1c)	従来項目に JDS 値の表記を追加しました。
			検査方法	ラテックス凝集法 (計算法)	LA 法 (ラテックス凝集法)	

- ヘモグロビン A1c (HbA1c) (NGSP)
- ヘモグロビン A1c (HbA1c) (JDS)

国際標準値 (NGSP 値) のご報告を開始いたします。JDS 値のご報告も併せて実施いたします。

日本糖尿病学会より、2012 年 4 月より国際標準値 (NGSP 値) の使用を開始し、当面の間は JDS 値も併記するという基本方針が発表されました。弊社におきましては、下記の①、②の2種類の暫定的な併記方法をご用意いたしましたので、ご事情に応じた方法でご利用くださいますようお願い申し上げます。

◆①NGSP 値と JDS 値の2項目を同時にご依頼いただいた場合・・・

ご請求は、弊社にて自動的に項目コード No.64045 NGSP 値のみとさせていただきます。



◆②NGSP 値 (項目コード No.64045) のみをご依頼いただいた場合・・・

当面の間、JDS 値 (項目コード No.26077) を弊社にて自動的に追加して、NGSP 値と JDS 値の双方をご報告いたします。無条件に JDS 値が追加されますので、システム等のご対応をお願いいたします。

ご請求はご依頼の NGSP 値 (項目コード No.64045) のみとさせていただきます。



◆③JDS 値 (項目コード No.26077) のみをご依頼いただいた場合・・・

JDS 値のご報告。ご請求をいたします。(NGSP 値は追加報告されません。)



■ 検査項目内容一覧

項目コード (統一コード)	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)	備考
64045	ヘモグロビン A1c(HbA1c) (NGSP)	血液 2.0 (7%化 Na 加)	E	冷蔵	2~4	50 ※2	ラテックス 凝集法	4.6~6.2 (%)	データの影響を 及ぼす場合がありますので、必ず 専用容器 E に採 血し、ご提出くだ さい。&ヨ
26077	ヘモグロビン A1c(HbA1c) (JDS)	血液 2.0 (7%化 Na 加)	E	冷蔵	2~4		ラテックス 凝集法(計算 法)	4.3~5.8 (%)	

▼ 参考 (日本糖尿病学会からの発表より)

- ・ 糖尿病の診断については「平成24年4月1日以降は、NGSP 値を用いて診断し、6.5%以上を糖尿病型とする。」と発表されております。
- ・ 表示・印字文字数にシステム上の制約がある場合、NGSP 値の検査項目名は「A1C」と大文字で区別するよう発表されております。